

注記事項

1. 貸借対照表関係

運営費交付金から充当されるべき退職給付の見積額は1,757,310,606円です。

運営費交付金から充当されるべき賞与見積額は108,364,740円です。

2. 損益計算書関係

ファイナンス・リース取引が損益に与える影響額は586,769円の利益であり、当該影響額を除いた当期総利益は446,857,140円です。

3. キャッシュ・フロー計算書関係

(1)資金の期末残高の貸借対照表上の科目は、現金及び預金です。

(2)重要な非資金取引は、以下のとおりです。

①寄付による少額資産の取得等	1,572,250円
②ファイナンス・リースによる資産の取得	46,200,000円
③重要な資産除去債務の計上	486,249,042円

4. 資産除去債務関係

資産除去債務のうち、当期末において貸借対照表に計上しているものの概要等は、以下のとおりです。

(1)資産除去債務の概要

口之津海上技術学校、波方海上技術短期大学校施設用地の賃貸借契約、海技大学校施設用地の無償賃貸借契約、及び各学校等における港湾施設等の使用に伴う原状回復義務等であります。

(2)資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から4年～47年と見積り、割引率は2.17%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

(3)当期における資産除去債務の総額の増減

①期首残高	0円
②「資産除去債務に係る会計処理」の適用に伴う過年度分残高計上額	476,089,435円
③有形固定資産の取得に伴う増加額	1,210,953円
④時の経過による調整額	8,948,654円
⑤期末残高	486,249,042円

5. 固定資産の減損の兆候

(1)減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額は、以下のとおりです。

(単位:円)

用途	種類	場所	帳簿価額
艇庫	建物	岩手県宮古市	17,346,590
練習船	船舶	岩手県宮古市	8,028,644

(2)認められた減損の兆候

国立宮古海上技術短期大学校の艇庫及び練習船については、東日本大震災により破損しており、使用可能性を著しく低下させる変化が生じているため、減損の兆候を認めております。

(3)減損の兆候の有無について、複数の固定資産を一体として判定した場合における、当該資産の概要及び当該資産が一体としてそのサービスを提供するものと認められた理由

該当する事項はありません。

(4)減損の認識に至らなかった理由

国立宮古海上技術短期大学校の艇庫及び練習船の使用可能性の著しい低下は、破損によるものであり、年度計画等に照らし、修繕によって将来の使用稼働が確実に見込まれていることから、減損の認識はしていません。

6. 不要財産に係る国庫納付等

(1)不要財産としての国庫納付等を行った資産の種類、帳簿価格等の概要は、以下のとおりです。

①建物	80,411,800円
②構築物	3,794,500円
③船舶	1,890,000円
④工具器具備品	154,000円

(2)不要財産となった理由

旧独立行政法人海員学校第一期中期計画により、国立沖縄海上技術学校の廃校及び財産の処分が確定したため、平成16年度末をもって業務を停止した同校の施設等が不要となりました。

(3)国庫納付等の方法

売却による現金納付

(4)譲渡収入による現金納付等を行った資産に係る譲渡収入の額	7,140,000円
(5)国庫納付等に当たり譲渡収入により控除した費用の額	0円
(6)国庫納付等の額	7,140,000円
(7)国庫納付等が行われた年月日	平成23年3月25日
(8)減資額	482,498,874円

7. 重要な債務負担行為

(1)重要な工事請負契約

契約を締結し、翌期以降に支払が発生する重要なものは、以下のとおりです。

(単位:円)

件名	翌期以降支払額
国立清水海上技術短期大学校総合実習棟新営工事	112,324,747
操船訓練装置用電子計算機賃貸借	29,925,000

8. 金融商品に関する事項

(1) 金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用は想定しておらず、定期預金及び有価証券等は保有しておりません。

預り金には、学生・生徒が学校で生活するために必要な経費を、学校預り金として計上しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表上計上額、時価及びこれらの差額については、以下のとおりです。

(単位:円)

	貸借対照表上計上額 (*1)	時価(*1)	差額(*1)
(1)現金及び預金	1,185,512,773	1,185,512,773	—
(2)未払金	(334,269,979)	(334,269,979)	—
(3)預り金	(245,617,302)	(245,617,302)	—
(4)リース債務(*2)	(112,557,694)	(113,674,893)	1,117,199

(*1)負債に計上されているものについては、()で示しております。

(*2)リース債務については、1年内支払予定額を含んでおります。

(注) 金融商品の時価の算定方法

(1) 現金及び預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 未払金及び (3) 預り金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) リース債務

時価については、新規にリース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定しております。

9. 賃貸等不動産に関する注記

当法人は、平成21年3月31日業務停止した海技大学校児島分校の土地を倉敷市に所有しております。
また、芦屋市の海技大学校に入学する学生を寄宿させるための学生寮を所有しております。

(単位:円)

貸借対照表計上額			当期末の時価
前期末残高	当期末増減額	当期末残高	
1,095,713,076	△ 14,790,428	1,080,922,648	1,088,201,871

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額です。

(注2) 当期増減額のうち主な増減額は、以下のとおりです。

資産取得による増加(学生寮)	5,145,000円
減価償却による減少(学生寮)	19,935,428円

(注3) 当期末の時価は、土地は「土地価格調査表」を基に算定した金額、学生寮は国土交通省の建設工事費デフレーターに基づいて算定した金額です。

また、賃貸等不動産に関する平成23年3月期における収益及び費用等の状況は、以下のとおりです。

(単位:円)

賃貸収益	賃貸費用(*1)	その他 (売却損益等)
1,403,000	36,768,983(19,935,428)	0

(*1) 賃貸費用に含まれる損益外減価償却相当額については、()で内数として記載しております。

10. その他独立行政法人の状況を適切に開示するために必要な会計情報

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災地である岩手県に所在する国立宮古海上技術短期大学校の被害状況は次のとおりであります。

校舎は津波及び地震による損害はありませんでしたが、津波により艇庫は半壊し練習船は流出したものの船内への浸水被害はなく、いずれも補修による原状回復を予定しており、損害額は軽微であります。

これらの補修費用については、平成23年度1次補正予算又は損害保険金の充当が予定されております。